

子ども家庭福祉委員会

令和4年度第5回定例学習会を開催しました

子ども家庭福祉委員会では、令和5年2月24日（金）19:00～21:00にwebにて定例学習会を行いました。

今回は立命館大学大学院・教授の野田正人先生にお越しいただき、「これからの子ども家庭福祉と社会福祉士の役割」と題して、研修を行いました。野田先生には本委員会に毎年のように来ていただき、その時々の子ども家庭福祉分野における社会福祉士のあり方について教えてもらっています。

今年度は、親権者の体罰禁止やヤングケアラー、非行や虐待、暴力行為、不登校など、子どもたちの様子を概観した上で、野田先生が携わられていた昨年12月の文部科学省「生徒指導提要」改訂について、その骨子や読み方等を教えていただきました。またこのご講話を受け、当日参加した委員等によって、終了時間を超えるほど熱心な質疑応答やディスカッションがなされました。

中でも、コロナ禍でも虐待と暴力行為、不登校が増えています。文科省も先生たちもなぜ増えているかわからないとされています。でも先生方の中にスクールソーシャルワーカー（SSW）も入ってしっかりアセスメントすると少なくなるというお話は、非常に興味深いものでした。

本委員会には、スクールソーシャルワーカーなど学校関係者、子ども相談センター（児童相談所）や家庭児童相談室などの行政機関、社会福祉協議会、施設などで働く人、独立型社会福祉士、大学教員や研究者など、いろいろな人がいます。

岐阜県社会福祉士会・会員のみならず、どなたでも参加していただけます。令和5年度の委員も募集中です。子ども家庭福祉分野に関心のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

